2017 年 1 月度役員会議事録

日時：2017 年 1 月 20 日(金)19：00～
場所：アミーゴ
参加者：原田会長、横田副会長、今井、兵頭、岡林

議題
2017 年度事業計画について

1） 通常総会

受験対策の講師を担当されている先生方のスケジュールを考慮すれば、技術顧問、特別会員の先生全員の参加は難しいと思われる。先生方には受験対対策をメインにスケジュールをお願いし、総会への参加はできる範囲でお願いしたい。開催日は 7 月 1 日（土）または 7 月 8 日（土）のいずれかとし、場所は昨年度と同じサンライズホテルとして調整を図ることとした。

総会後の勉強会では、島教授のイギリス留学報告と、補修・補強材の勉強として、有機系（ショーボンド建設）、無機系（セメント協会）の説明をそれぞれ行って頂く、たま今井氏よりエポキシ樹脂を用いた施工事例等の発表も行って頂く予定です。尚、会場の手配は原田会長が行う。

２）会計報告

横田副会長より、2016 年度の収支は今現在で￥295,953 の残高である旨の報告が行われた。

３）コンクリート診断士受験対策講座について

2017 年度の開催日は 6 月 3 日(土)～6 月 4 日(日)の 2 日間とし、場所は昨年度と同じポリテクセンター高知とする。 講師陣は当会技術顧問および特別会員の各先生方と昨年度講師としてご協力頂いた渡辺健先生（徳島大学）に要請する。

４）現場見学会

2017 年度の現場見学会は、須崎市の「第二領地橋りょう」を計画している。現在横田副会長が、関係各位と調整している。現地は阿波海岸にあり、レストラン琵琶湖の駐車場を借り見学をする予定、本年度は昼食込で￥1,000 とし、開催日は 4～5 月を予定とする。

５）第 8 回コンクリート技術研修会

2017 年度の日程は、9 月 8 日(金)または 15 日(金)の１３：00～とし、場所はサンピアセリーズとする。講師陣は、安芸土木事務所の森下氏、国土交通省四国地方整備局、国立横浜大学の細田准教授「コンクリートの表層品質」とする案が出された、細田准教授は昨年度の田村教授および二宮氏と共にコンクリートの品質に関する研究をなされており、昨年度からの継続テーマとしてご登壇して頂けるよう要請することとなった。受講対象者は昨年同様とし、CPDS 認定講習会とする。

６）JCD 主催第 5 回業務体験報告会

2017 年度は 11 月に名古屋において開催予定である。第一コンサルタントの兵頭氏に一任することとした。

７）2018 年度コンクリート技術研修会（設立 10 周年）開催計画

来年度（2018 年）は高知県コンクリート診断士会設立 10 年を迎える。そこで 2018 年度のコンクリート技術研修会は、2015 年度のコンクリートサミットで使用した高知工科大学講堂において、サミット同様に 1 日がかりの記念講演を予定しています。講師陣は魚本先生等今後検討することとした。

８）勉強会への講師派遣について

横田副会長より、2017 年度の「高知県土木施工管理技士会」勉強会は 6 月に開催予定であるので、昨年度と同様に講師を派遣する予定である。また、高知県技術公社においての市町村職員に対する勉強会にも前年度と同じように講師を派遣する予定である。

9）その他

・JCD かわら版（10 回目）の作成依頼があり、今回の役員会報告をメインに作成する。
・ASR、塩害、濁沸石（ローモンタイト）等によるコンクリート構造物の劣化による補修、補強の再劣化が問題視されている。そこで、高知県で劣化報告があるローモンタイトの調査研究および、補修材で使用実績の多いポリマーセメントモルタルの耐久性性能評価についての WG を横井教授（高知高専）および賛助会員である羽根産業社（高知県環境工法研究会）にご協力頂き発足させる。

以上

2017 年 1 月 23 日

文責：岡林